

わかるは楽しい 富士塾通信 十二月号

師走です。冷えてきましたネ

早いもので、令和六年も残りひと月となりました。

十干十二支（じっかんじゅうにし）で甲辰（きのえたつ）の今年は、
“大きな動きがあり、良い方向へ変わる年、”
と言われていましたが、あなたにとって良い変化はありましたか。
まだの人はあと一ヶ月あります。期待しましょう。

因みに、私（塾長）は、今までにない行動をした結果、とても素晴らしいことが起こりました。皆さんも新しい経験をする機会があったら、失敗を恐れずに率先してチャレンジして下さい。

テストは何のためにするの？

全国の中学校や高校で、定期テストを廃止したり、回数を減らしたりする学校が増えていることは、以前にも触れました。
それでは、定期テストは本当に必要のないものなのでしょうか？

これまでの定期テストは、

- ① 授業で学習したことをテスト勉強で復習し、しっかりと記憶を定着させるため。（学力の定着）
- ② 自分の苦手な科目や単元を知り、克服するため。（弱点を知る）
- ③ 生徒の学力を評価して成績をつけるため。

（内申点の基準となり、主に高校受験の合否判定に使用）
ということ、を、主な目的として実施されてきたと思います。

しかし、最近のテストは、過去問だけを勉強して、暗記力さえあれば一夜漬けで高得点が取れるものが多くあります。

これでは、本来の目的である生徒の学力を伸ばし、論理的に考えたり、新しい物を創造したりする能力は育てられません。

社会人になっても、自分で考えることもせず、人に言われなければ何もできない指示待ち人間が増えていることも問題になっていて、大学の入試制度が変わったり、中学校・高校が定期テストを廃止したりするのも、将来を心配してのことだと思います。

定期テストは、実施しても廃止しても、どちらにもメリット・デメリットはあります。富士塾は、学校の制度がどのように変わろうとも、生徒の学力を高めることを目標とし、苦手な科目でも克服できるようにサポートしていきます。

学生のあなたへ

あなたには、無限の可能性を秘めた未来が待っています。その未来を明るく楽しくするためにも、いろいろなことに挑戦して経験値を積んで下さい。若いうちは、失敗しようが成功しようがどちらでも構いません。勇気を出して踏み出した一步一步の経験が素晴らしい財産になります。実際に、そのことを実践した青年を眼の前で見ることができました。その彼は、更に新しい経験を積もうと次なる旅立ちの準備をしています。

さあ、皆さんも勇気を出して一歩踏み出してみましょう

◇十二月予定行事◇

▽第三回県模試…7日

▽鏡原中2年修学旅行…十六～十八日

▽冬休み…二十六日